平安時代

名前

問1　894年に、唐の国力が衰退していることや往復の航海が危険であることを理由に、遣唐使の派遣を停止するよう天皇に建議した人物は誰ですか。（2023年 埼玉県公立入試 類似）

1. 阿倍仲麻呂
2. 鑑真
3. 聖徳太子
4. 菅原道真

問2　11世紀半ば、摂政・関白として権勢を誇った藤原頼通が、京都の宇治に極楽浄土の様子を再現しようとして建立した、阿弥陀如来を本尊とする代表的な建築物はどれか。（2018年 鳥取県公立入試 類似）

1. 慈照寺銀閣
2. 平等院鳳凰堂
3. 東大寺大仏殿
4. 鹿苑寺金閣

問3　11世紀後半に白河天皇が始めた、天皇が位を譲って上皇となった後も引き続き政治の実権を握る政治形態を何といいますか。藤原氏が摂政や関白として権力を振るった「摂関政治」を抑える意図で行われたものを選択してください。（2024年 岐阜県公立入試 類似）

1. 院政
2. 幕政
3. 親政
4. 執権政治

問4　日本の歴史事項をまとめた年表において、11世紀の後半に「白河上皇が位をゆずった後も政治を行う体制を始めた」という記述がある場合、その政治体制の説明として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2021年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自ら行う政治
2. 藤原氏が娘を天皇の后にすることで、外戚として実権を握る政治
3. 律令に基づき、中央から派遣された国司が地方の行政を直接担う政治
4. 将軍が幕府を開き、守護や地頭を任命して全国の土地を支配する政治

問5　平安時代、藤原氏が摂政や関白として権勢を誇った摂関政治の時代を経て、白河上皇が天皇の位を譲った後も「上皇」として政治の実権を握る新しい政治形態が始まりました。この政治形態の名称と、それを行った人物の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2018年 大分県公立入試 類似）

1. 武家政治 ― 平清盛
2. 摂関政治 ― 藤原道長
3. 執権政治 ― 北条時政
4. 院政 ― 白河上皇

問6　平清盛が、現在の兵庫県神戸市にあたる大輪田泊（兵庫の港）を大規模に改修し、瀬戸内海の航路を整備した目的を説明したものとして、最も適切なものはどれですか。（2023年 山口県公立入試 類似）

1. 明との間で勘合を用いた貿易を開始し、倭寇による海賊行為を防ぎながら利益を得るため
2. 元（モンゴル帝国）の軍勢が九州へ侵攻してきた際に、水軍を派遣して防衛するための拠点とするため
3. 遣唐使を派遣するための大型船を建造し、大陸の進んだ仏教文化を効率よく取り入れるため
4. 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため

問7　後三条天皇は、藤原氏の経済的基盤を弱めるために「延久の荘園整理令」を出しました。この法令の内容と目的として最も適切な説明はどれですか。（2026年 奈良県公立入試 類似）

1. 全国の土地をすべて公地とし、班田収授法に基づいて農民に口分田を割り当て直そうとした。
2. キリスト教の布教を制限し、大名による貿易の利益が幕府に集中するように管理を強めた。
3. 記録所という役所を設けて、書類が不備な荘園を整理し、国家の収入と天皇の権限を強化しようとした。
4. 武士が地方の土地を不当に奪うことを禁じ、鎌倉幕府による土地の支配権を認めようとした。

問8　平安時代初期に最澄が伝えた天台宗などの新しい仏教は、奈良時代の仏教が政治と密接に関わりすぎた反省から、どのような特徴を持って展開されましたか。最も適切な説明を選んでください。（2020年 群馬県公立入試 類似）

1. 阿弥陀仏の救いを信じて念仏を唱えれば、誰でも極楽浄土へ行けると説いた。
2. 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈った。
3. 唐から来日した高僧が、僧侶が守るべき正しい戒律を授ける制度を整えた。
4. 橋の建設やため池の築造などの社会事業を行い、民衆の間で直接布教した。

問9　平安時代中期、一条天皇の中宮定子に仕えた女性が、宮廷生活の体験や四季の移ろいに対する鋭い感性を書き記した作品があります。この作品は、自然の美しさや日常生活の興味深い出来事を「をかし」という美意識でつづった、日本を代表する随筆とされています。この作品の名称として正しいものはどれですか。（2025年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 土佐日記
2. 源氏物語
3. 更級日記
4. 枕草子

問10　平安時代中期、貴族の政治が摂関政治へと移り変わり、日本の風土や日本人の感性に合わせた文化が発達した時期の記述として、正しいものを次から選びなさい。（2019年 熊本県公立入試 類似）

1. 聖武天皇の命により、仏教の力で国を治めるために国分寺や国分尼寺が全国に建てられた。
2. 日蓮が法華経の題目を唱えることを説き、鎌倉時代の武士や民衆の間に信仰が広がった。
3. 鑑真が日本に渡り、正しい仏教の戒律を伝えたことで、奈良の仏教が発展した。
4. 阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まった。

問11　10世紀から11世紀にかけての日本の文化において、漢字を簡略化して作られ、貴族の生活や感情を自由に表現することを可能にした文字と、その文字を用いて執筆された文学作品の組み合わせとして適切なものはどれですか。（2023年 福岡県公立入試 類似）

1. カタカナ ― 『徒然草』や『平家物語』
2. 万葉仮名 ― 『万葉集』や『日本書紀』
3. かな文字 ― 『源氏物語』や『枕草子』
4. ハングル ― 『奥の細道』や『曽根崎心中』

問12　平安時代末期に「院政」という仕組みが成立した背景を説明したものとして、最も適切なものはどれか。（2022年 大分県公立入試 類似）

1. 藤原氏を外戚（母方の親戚）に持たない天皇が即位したことをきっかけに、摂関家の影響力を抑えて自ら政治を行おうとした。
2. 武士が政治の主導権を完全に握ったため、朝廷の権威を象徴的なものに限定しようとした。
3. 藤原氏との血縁関係が強い天皇が即位したため、摂政・関白の権限をさらに強化する必要があった。
4. 律令制度を完全に復活させ、地方の国司にすべての徴税権を委ねることで財政を安定させようとした。

問13　平安時代中期、摂政・関白として権勢を振るった藤原頼通は、京都の宇治に平等院鳳凰堂を建立しました。池の中央に配された阿弥陀堂が、翼を広げた鳥のような優美な形状をしているこの建築は、当時の人々のどのような願いを現世に表現しようとしたものですか。（2023年 富山県公立入試 類似）

1. 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため
2. 武士の勢力に対抗するため、将軍としての政治的な権威を象徴するため
3. 大陸との貿易による利益を背景に、最新の建築様式を貴族たちに誇示するため
4. 禅宗の教えに基づき、座禅などの厳しい修行によって悟りを開くため

答え合わせ・解説

問1	答え 4 菅原道真	平安時代の公卿である菅原道真は、894年に宇多天皇に対して遣唐使の停止を建議しました。当時の唐は国内の乱れによって国力が衰えており、命がけで渡航してもそれに見合う文化的な成果を得ることが難しいと判断されたためです。これ以降、遣唐使は派遣されることなく廃止されました。
問2	答え 2 平等院鳳凰堂	藤原氏が最も繁栄した摂関政治の時期に建立されました。当時の貴族たちは、現世での繁栄だけでなく、死後に極楽浄土へ行けることを強く願っており、その理想の世界を視覚的に表現したものがこの建物です。
問3	答え 1 院政	白河天皇は、幼い子に天皇の位を譲って自らは上皇（じょうこう）となり、独自の役所を設けて政治を行いました。これにより、天皇の外戚（母方の親戚）として権力を握っていた藤原氏の影響力を排除し、自分の子孫に確実に皇位を継承させていく基盤を固めました。
問4	答え 1 天皇が位を退いて上皇となり、摂政や関白の影響を受けずに自ら行う政治	院政は、藤原氏が摂政や関白として政治を主導した「摂関政治」を打破するために、白河上皇によって確立されました。上皇は天皇の在位中とは異なり、摂関家との血縁関係を重視する仕組みから自由な立場で政治を行うことができました。この体制はその後、鳥羽上皇や後白河上皇へと受け継がれ、約100年間にわたり政治の主導権を握ることとなりました。
問5	答え 4 院政 ― 白河上皇	白河天皇は、幼い天皇に位を譲った後も「院」と呼ばれる場所で政治を司りました。これを院政といいます。それまでの摂関政治は、藤原氏が天皇の母方の親戚（外戚）として権力を振るうものでしたが、上皇が直接政治を行うことで、摂関家の影響力を抑える目的がありました。
問6	答え 4 中国の宋との貿易を本格化させ、その経済的利益によって平氏一族の政治的基盤を固めるため	平清盛は、従来の貴族による政治とは異なり、大陸との経済的な結びつきを重視しました。大輪田泊（兵庫の港）を整備して日宋貿易を推進した背景には、宋から輸入される宋銭を国内で流通させたり、高価な品々を扱うことで得られる経済力を、平氏の権力を維持するための資金源にするという狙いがありました。他の選択肢にある勘合貿易は室町時代、元への防衛は鎌倉時代、遣唐使はより古い時代の出来事です。
問7	答え 3 記録所という役所を設けて、書類が不備な荘園を整理し、国家の収入と天皇の権限を強化しようとした。	それまでの荘園整理令は、荘園の持ち主である藤原氏自身が審査に関わっていたため不十分なものでしたが、後三条天皇は記録所（記録荘園券文所）を設置して厳格に審査を行いました。これにより、藤原氏の私有地を含む不当な荘園が没収され、皇室の財政基盤が安定するとともに摂関家の勢力が削がれました。
問8	答え 2 人里離れた山の中に寺院を建て、厳しい修行を通じて国家の安泰を祈った。	奈良時代の仏教が政治に介入し混乱を招いたことを受け、平安時代初期の仏教は比叡山（天台宗）や高野山（真言宗）といった山の中に拠点を置きました。これらは密教的な要素を含み、加持祈祷によって国を守る「鎮護国家」の役割を担い、貴族の間で深く信仰されました。
問9	答え 4 枕草子	清少納言によって執筆されたこの作品は、宮廷に仕えた才能ある女性の視点から、自然の情緒や人間関係、宮廷生活での出来事を自由な形式で記録したものです。平安時代の貴族社会の気風を今に伝える貴重な資料であり、日本最古の随筆の一つとしての地位を確立しています。同時期に活躍した紫式部の『源氏物語』が物語（フィクション）であるのに対し、作者の身の回りの出来事や感想を記した実録的な性質を持っています。
問10	答え 4 阿弥陀如来にすがり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う浄土信仰が広まった。	遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土に合わせた「国風文化」が発展しました。この時期、現世の不安から逃れ、死後に「極楽浄土」へ行くことを願う浄土信仰が貴族や庶民の間に浸透しました。国分寺の建立や鑑真の来日は奈良時代、日蓮の活動は鎌倉時代の出来事であるため、時期が異なります。
問11	答え 3 かな文字 ― 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問12	答え 1 藤原氏を外戚（母方の親戚）に持たない天皇が即位したことをきっかけに、摂関家の影響力を抑えて自ら政治を行おうとした。	藤原氏が権力を握っていた摂関政治は、天皇の母方の親戚（外戚）として政治を補佐する形をとっていました。しかし、藤原氏と血縁の薄い後三条天皇や白河天皇が登場したことで、藤原氏の顔色を伺わずに政治を行う土壌が整い、退位後も上皇として実権を振るう院政へとつながりました。
問13	答え 1 阿弥陀仏の住む極楽浄土を現世に再現し、死後の救済を願うため	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法思想」が広まり、人々の間で死後に救済を求める浄土信仰が流行しました。藤原頼通は、この信仰に基づいて阿弥陀如来を本尊とする平等院鳳凰堂を建立しました。庭園の池の中に建てられたその姿は、阿弥陀仏が住む理想郷である極楽浄土を、地上に視覚的に再現することを目指したものです。選択肢にある禅宗は鎌倉時代に広まったものであり、貿易利益や将軍の権威といった要素もこの建築の本来の目的とは異なります。